

2021年9月16日

経済学委員会「持続的発展のための制度設計」分科会
「カーボンニュートラルに関する連絡会議」発表資料

カーボンニュートラルの経済学

松島 齊

東京大学大学院経済学研究科教授、分科会委員長

分科会の総合的テーマ

日本社会の持続的発展の達成のためには どのような具体的な制度設計が必要か

過去2年の議題： 電波オークション
女性の社会進出（少子化対策、格差是正、税制改革）

現在と今後の議題： 気候変動
デジタルエコノミー

日本社会の問題を「コモンズ（共有地）」の問題としてとらえる

コモンズの悲劇： 放任していると枯渇してしまう（持続不可能）
市場の失敗

「インセンティブ」の欠如：
問題の重要性が認知されているのになかなか改善されない

→ インセンティブを持続的に提供できる
抜本的な制度設計が不可欠

Wishful Thinking (希望的観測) ではなく
「Governance (統治)」をデザインせよ

制度設計の3つの視点：

マーケットデザイン： 私有による競争

政府によるコントロール： 占有による規制

Self-Governance： 共有による互惠性

カーボンニュートラルの経済学

CO₂削減目標の達成のためには
どのような具体的な制度設計が必要か

環境問題を「グローバルコモンズ」の問題としてとらえる

グローバルコモンズの悲劇：不特定多数のステークホルダーからなるコモンズ
国際協力が不可決

インセンティブの欠如：

問題の重要性が認知されているのになかなか改善しない

国際交渉は30年間難航したまま

Wishful Thinking

「Pledge and Review」 Bargaining Rule

→ インセンティブを持続的に提供できる
抜本的な制度設計が不可欠

制度設計の3つの視点：

マーケットデザイン

1) カーボンプライシングとE. S. G. Investing

シンプルで透明かつ包括的なカーボンプライシングの確立
営利企業の社会貢献（ミッションの達成度）の可視化と市場評価
営利活動と社会貢献の整合性

2) LCAとサーキュラーエコノミー

環境負荷を製品の全工程にわたって総合的に査定
リサイクルのためのオークションデザイン

Self-Governance

国際交渉のルール設計

グローバルコモンズには国際協力が不可欠
主権国家体制の範囲内で効果的な交渉ルールを提案すべき

1990年～現在： Pledge and Review Bargaining Rule
 Wishful Thinking

代替案： 「Common Commitment」 Bargaining Rule
 Self-Governance

政府によるコントロール

国内の制度設計の実装と管理、国際交渉の代表者、その他

グローバルコモンズは
職業的専門家による、分野横断的な
「社会的共通資本」の問題である

社会的共通資本とは：

「一つの国ないし特定の地域に住むすべての人々がゆたかな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を持続的、安定的に維持することを可能にするような社会的装置」（宇沢弘文）

自然資本： 大気、森林、水資源

社会インフラ： 上下水道、電力制度、交通機関、デジタル空間

制度資本： 教育制度、医療システム、食料システム、金融システム

松島個人の取り組みについて

Academism

ゲーム理論： 制度設計のための基礎研究
マーケットデザイン： オークションの理論と実験

学内活動

UTMD（東京大学マーケットデザインセンター、2020～）：
マッチングとオークションの社会実装、社会活動

東京大学全学における分野横断的なグローバルコモンズへの取り組み

以上